

名 称	令和4年度 地下構造物講習会 (ライブ配信)		
実施日	令和4年11月25日(金)	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室
参加者数	61名 (会員61名 (22社)、非会員一名 (一社))		

実施目的

地下構造物講習会は、地下構造物設計に携わる若手技術者を対象として、当委員会のワーキングにて取りまとめた技術資料の紹介を目的に、維持管理業務のチェックポイント、品質確保に向けた取組に関し講演を行った。

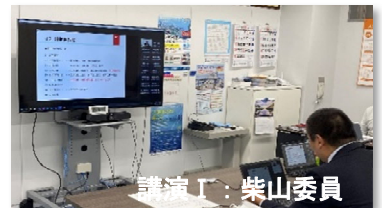
実施概要

1. 開催概要

地下構造物講習会は、令和4年11月25日(金) 13:15~16:40 に下記プログラムに沿って開催した。今回は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、Zoom を活用したオンライン方式の開催とした。

●令和4年度 地下構造物講習会プログラム

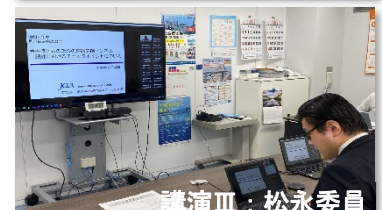
13:15 ~13:25	講習会に関する注意事項等 趣旨説明・開会挨拶	正岡 委員 木村 副委員長
13:25 ~14:15	講演Ⅰ：若手技術者のための山岳トンネル点検 におけるチェックポイントについて	柴山 委員
14:15 ~15:05	講演Ⅱ：若手技術者のための山岳トンネル補修 設計におけるチェックポイントについて	坂本 委員
15:05~15:15	休憩 (10分)	
15:15 ~16:05	講演Ⅲ：若手技術者のための道路開削トンネル 設計におけるチェックポイントについて	松永 委員
16:05 ~16:35	講演Ⅳ：道路開削トンネル設計に関する技術基準 の整理と紹介	最首 委員
16:35 ~16:40	講評・閉会挨拶	木村 副委員長



講演Ⅰ：柴山委員



講演Ⅱ：坂本委員



講演Ⅲ：松永委員



講演Ⅳ：最首委員

2. 講演内容

①講演Ⅰ：若手技術者のための山岳トンネル点検におけるチェックポイント

・山岳トンネル点検業務を担当する若手技術者が、手戻りなく効率的に業務を遂行し完成させるための、「照査リスト」の利用上の留意点を解説するとともに、計画準備、点検作業、報告書作成等の段階ごとのチェックポイントを解説した。

②講演Ⅱ：若手技術者のための山岳トンネル補修設計におけるチェックポイント

・山岳トンネル補修設計業務を担当する若手技術者が、手戻りなく効率的に業務を遂行し完成させるための、「照査リスト」の利用上の留意点を解説するとともに、計画準備、現地調査、設計条件の確認、対策工の選定、対策工の設計および報告書作成の段階ごとのチェックポイントを解説した。

③講演Ⅲ：若手技術者のための道路開削トンネル設計におけるチェックポイント

・開削トンネル設計業務を担当する若手技術者が、検討しなければならない項目や条件によって注意が必要な事項について、当委員会において「成果品標準化への取組」の中で整理した「照査項目」に沿って、基本条件、細部条件、成果品等の段階ごとチェックポイントを解説した。

④講演Ⅳ：道路開削トンネル設計に関する技術基準の整理と紹介

・若手技術者が、開削トンネル設計業務を担当する際に利用する設計基準（各地方整備局、NEXCO、都市高速道路、道路土工等）を対象として、総論、基本条件、仮設設計、常時設計、耐震設計等の項目ごとに各基準を記載内容を横並びにした整理表に基づき、記載の有無、内容の深さ等について紹介し、使用上の留意点を解説した。

3. アンケート結果

講習会終了後に、地下構造物講習会内容やオンライン開催について質問するアンケートをWEB方式で実施した。

各講演内容における受講者への貢献度は、概ね高い評価を得ることができた。今後の地下構造物講習会の必要性95%、継続参加希望は79%と高い要望があった。参加方式はWEB希望が74%と高く、ハイブリッド開催の希望は26%だった。なお、受講料の1,000円は、約97%が妥当との回答であった。